

国保の助産費

一万円に引き上げ

— 九月一月から適用 —

- ▼六月市議会定例会は、六月十二日に招集され、同十日までの七日間（本会議五日、常任委員会一日休会一日）の会議で開かれました。こんどの議会で審議されました議案は、専決処分報告、四十六年度……の予算補正など十七件でそれぞれ原案可決、または承認され、陳情、請願二十件が審議されました。

【議案】
 ▼ 國松 栄氏
 （市の水道課長を固定資産評価審査委員会の委員に再任しました。）

▼ 財團 法人 岡市開発公社
 助産費は、二千元から一万円に引き上げられ、九月一日以降の出産について適用されます。
 地方税法の一部改正など

▼ 歳入歳出の予算総額を一四〇万円減額しました。
 ▼ 投票管理者などの報酬を改正。

	改正前	改正後
投票管理者一	五〇〇円	二五〇円
開票管理者一	五〇〇円	二五〇円
選挙長	二、五〇〇円	二、〇〇〇円
投票立会人	一、〇〇〇円	二、〇〇〇円
開票立会人	一、〇〇〇円	二、〇〇〇円
選挙立会人	一、〇〇〇円	二、〇〇〇円

【報告】
 ▼ 市長の専決で施行してまいりましたので、次のことが議会に報告されました。

▼ 一月から四月までの退職者の市民税は、繰り上げて徴収ができるようになりました。
 ▼ 老年人、障害者、未成年者寡婦の非課税の限度額が三十

二万円から三十五万円に引き上げられました。

▼ 45年度の予算補正
 市庁舎建設用地購入、空港周辺整備事業などの地方債の起債額や利率などが変更されました。
 市道小蓮蒲原線の用地購入補償として、二〇〇万円が計上されました。

▼ 46年度の予算補正
 勤奨退職者（十名）の退職手当、二千五六五万円、し尿浸透槽の進入路、六六五万円、商工業者天災融資の利子補給三四六万円、県議、参議の選挙事務費一八万円が追加され、勤奨退職で、一千七八万円の人件費が減額されました。
 歳入は地方交付税、一千五〇〇万円、退職手当債、一千万円、県委託金、一一八万円などとなっています。

また、市庁舎建設基金の積立金 三千五〇〇万円は、四十五年度をとりやめて、四十六年度で積み立てることとされました。

▼ 公営住宅の建設については用地交渉の難航や地下湧水のために工事がおくれまされたので、四十六年度に繰り越されました。

▼ 時代が進むと世の中も変わるものである。いま、日本は七十億ドルも外貨がたまり、西ドイツ、アメリカについて三番目の金持ちの国になった。西ドイツも日本も敗戦国である。日本はアメリカの気嫌をそこなうくらい金持ちでありながら不景気風が吹いて困っている。金持ちになっても、不景気で仕事がないとはどうもげせない。▼ ビーマンが暴落して農家は大打撃である。最近まではビーマンが最大のドル箱であった。技術が進みどこでも誰でもが作ることができるようになったのが最大の原因であらう。また、大量生産の技術が進んだのも原因であらう。▼ 休耕田に、かき、もも、うめなどが植えられる。これらの果樹が生産期にはいつた時がいやられる。▼ 米の生産が制限されると、たちまち農機具会社の具合がおかしくなり、その下請けの町工場は赤字号があがっている。これらの影響が伝わる早さはすぎましいものがある。自動車も道からはみ出すくらいのが走っている。これも大量生産のためである。米もビーマンも大量生産がたたっている。何もかにも大量生産で豊かになるのも早い。人間間違えば困るのもまた早い。人間はもう少し欲をすてたらと思う。



（ロケット）